



2月



発行責任者

西川 晃二

【校長室より】

人生の総量は 人皆 等しい

如月、2月は「逃げ月」と昔からいわれているように、あっという間に1ヶ月が過ぎました。今年は、ひと月28日をもって3月に突入します。1ヶ月が31日の月と比べると、わずか3日の違いですが、その日々のスピードがひとしお速いように感じてしまいます。時間には物理的時間と精神的時間というのがあると、古くから言われてます。実に「時間」の不思議さを実感する毎日です。個人的には30歳を過ぎてからの時間の加速に驚いた記憶がありますが、今や50も半ばを過ぎた私は、これ又、より一層速い時間の流れにはなはだ驚く毎日です。

私なりに「時」というものを考えてみました。

若い頃、「時」を長く感じたのは、何故だろうか。若者には、日々発見が、成長があったからではないだろうか。大人となった今は、発見する眼がかすんだり、成長の実感がなくなったが故に、日々の「時」が速くなっていったのではないのか。その意味では、「成長しない」大人は、むしろ子ども達に大いに学ばなければいけないのではないだろうか。などと、つらつら考えています。

先月、人として、そして、教師として尊敬してやまない元校長先生が亡くなりました。長崎県の文化振興に努められ、公立高等学校校長ご退職後は、ある女子短期大学学長を務められました。その人は、田中正明先生です。私が若い頃務めていた高校の校長先生でした。その時の先生のことは今でも忘れられません。「西川君、人生の総量はね、人皆等しいんですよ。」ということばでした。その時は、田中先生と我々一般の凡人とは違いすぎると感じ、どうしても「人生の総量が等しい」などとは、にわかに信じることはできませんでした。ただし、若い我々を大いに叱咤激励することばでした。「友がみな 我よりえらく 見ゆる日よ 花を買ひ来て 妻としたしむ」（石川啄木）ではありませんが、若い頃は先が見えず、闇雲に不安と焦りを感じるものです。そして、早く早くと解答を求めがちです。眼をぎらつかせ、先を急ぐ若い私を戒めることばだったのです。

また、先生は「人生は、一生涯、学習の連続ですよ。」とも語っていました。生涯学習の基本であり、当たり前のことばですが、田中先生から発せられる、そのことばには含蓄深いものを感じました。「学習」といえば、すぐ頭に浮かぶのが、学校での学びです。しかし、「学び」の場は、学校だけではありません。学校の学びは、長い人生の「学び」の助走期間に過ぎません。若者は、それになかなか気づきません。つい「学び」を学校の学びのみに限定してしまいがちで、今眼前にある森羅万象の学びの対象に気づかぬ青春を送りがちです。また、大人である我々も頭では理解しながらも、なかなか実践しないまま年を重ねている現状でもあります。少なくとも私にはそれが当てはまります。

日々、学ぶ姿勢を忘れぬようにしなければ、時は無為に過ぎゆき、人生の総量も満たせぬまま終わるのではないかと危惧する毎日です。

3月1日は、五島高等学校の第65回（衛生看護科38回）卒業証書授与式が挙行されます。卒業式に際し、卒業していく3年生、そして1、2年の在校生に「学び」について今ひとたび、考えて貰いたいと思っています。

さて、短い2月ではありましたが、様々な行事が目白押しでした。推薦入試、離島留学入試、そして、芸術科発表会、駅伝新人戦、マラソン大会、その後のボランティア清掃、小学校でのボランティア体験などなど。生徒達は場面場面で一生懸命に取り組んでくれました。また、保護者の皆様にも、マラソン大会の炊き出しなど、教員だけでは果たせないことにご協力頂き感謝の思いで一杯です。さらに2月17日には大阪石城会50周年総会が行われました。全国（五島）石城会吉野会長とともに出席させて頂いたわけですが、同窓生の強いつながりと、五島出身の皆様の固い絆に感動し、翻って五島高校を、五島を愛する皆様の思いに応えなければならぬと、思いを新たにさせて頂いたところです。

1月30日（水）に、五島高校普通科スポーツコース第8期生の卒業発表会を、本校軽スポーツ場にて開催しました。最初に西川校長からは来賓・保護者の御来席に対するお礼、3年生に対してこれまでの部活動や学習、そして学校行事への取り組みについての紹介と発表への期待の言葉がありました。

3年6組スポーツコース生8名が3班に分かれ、3年間の専門科目に関する学習の集大成として、1班は「運動と減量」、2班は「ビジョントレーニングについて」、3班は「睡眠と朝食と運動」についてプレゼンテーションを用いて発表を行いました。発表後には1、2年生や校長先生から質問もあり、発表者が丁寧に答えていました。

堂々と発表する姿に3年間の成長ぶりがみられ、また、8名という数少ないクラスメートで互いに協力し合い研究を進めてきた結束力を見ることができ、見る人たちに感動を与えてくれました。

県教育庁体育保健課の松尾先生から指導助言をいただき、専門的な見地から各班への助言やこれからのスポーツコースに対する期待の言葉がありました。

御多用な中、来賓、スポーツコース保護者の皆様など多くの方に御参観いただき、本当にありがとうございました。



第7回芸術科学習発表会 ～ 芸術の心を育もう ～ 2月1日

2月1日（金）、午前中に第1学年全員で芸術科学習発表会を行いました。美術選択者は『友達の苗字を使って風景画を描こう。』というテーマのもと、各班6～7名が協力して創り上げた渾身の力作を展示発表しました。代表者2名による作品説明では、完成までの苦労話や工夫点などが紹介され、1枚1枚の作品をより味わいながら鑑賞することができました。



音楽選択者は、今年の五高祭テーマソング『あこうのように』をオープニングで歌い、各クラスの合唱と独唱の発表、そして最後にベートーヴェン作曲『よろこびの歌』を全員合唱しました。司会や挨拶も含め、ステージ上で堂々と精一杯に表現する生徒たちの姿に、胸が熱くなり、1年間の成長を確かめることができました。普段は別々に授業を受ける美術・音楽選択者ですが、相互に感性を刺激し合えたことはとても素晴らしいことです。ともに幸せな時間を過ごさせてくれた1年生全員に、心からの拍手と「ありがとう」の言葉を贈りたいと思います。これからも、五島の文化発展のために五高生が輝き続けてくれることを切に願っています。



教職員救急法実技講習会 2月6日

今年も2月8日に開催されるマラソン大会に備え、2月6日（水）に五島市消防署職員2名による教職員を対象とした救急法実技講習会を行いました。

心肺停止予防から一次救急までの流れを説明して頂き、心肺蘇生法、AEDの取り扱いについて約一時間かけて学びました。

講習会では、心臓マッサージを参加教職員全員が体験しました。男性職員による心臓マッサージリレーのチームワークは素晴らしいものでした。一人の命を繋ぐための気迫が感じられ頼もしさを感じました。

教職員が正しい知識と技術を持ち合わせているということは、生徒の生命の維持だけでなく予後にも大きく影響してきます。定期的に講習を受講し正しい知識と技術の定着をはかると共に、行動する勇気を持つ事の大切さを感じました。



保護者の皆様 ありがとう！

豚汁の炊き出し 2月8日

2月8日（金）のマラソン大会の日に、1・2年生のマラソン大会と受験勉強を頑張る3年生への激励として、今年度も保護者の皆様に豚汁の炊き出しをしていただきました。寒い中、一生懸命走ったり、頑張ったあとの愛情たっぷりの豚汁はとてもあたたかく、おいしかったです。前日からの準備も含め、お忙しい中、また大変寒い中、本当にありがとうございました。今後ともPTA活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



～ 身も心も鍛えよう! ～ 校内マラソン大会 2月8日

2月8日(金)に校内マラソン大会(男子10km、女子6km)を実施しました。大変寒い雪のちらつく天候でしたが、大きな事故もなく大会が終わったことにひと安心しております。

この大会に向けて12月・1月の体育の授業で走り込みを続けてきました。本番当日もほとんどの生徒たちが力を精一杯出し切っていました。

大会前日から、PTA役員の方々にお集まり頂き、豚汁を振る舞って頂いたことも、生徒の走る活力となっていました。また、今年度も進路が決定した3年生が大会に参加し、運営を手伝ってくれたことも成功の大きな要因となりました。

持久走・マラソン大会で走る姿を見ていると、その人間性が強く浮き出てきます。是非、自分の走りを振り返り、自己評価をしてください。ひとつの行事を通して、五高生がたくましく成長していくことを望んでいます。

個人成績(男子)

1位 吉岡力也(1-4) 2位 福浦紳市(2-4) 3位 宮崎寛之(1-3)

個人成績(女子)

1位 小西美紅(2-2) 2位 洗川沙希(1-4) 3位 滝川黎菜(2-7)

練習の成果を
発揮しました☆

団体成績

1位 2年1組 2位 2年2組 3位 1年5組



地域清掃 ～ 我が、ふるさとを美しく ～ 2月8日



2月8日(金)の午後、ボランティア活動の一環として、本校1・2年生、進路決定した3年生及び教職員で、日頃から利用させていただいている五島市のアーケードを中心に清掃活動を行いました。気温1℃で雪が舞う非常に寒い天候の中、意欲的に取り組み、多くのゴミを回収することができ、地域の美化に少しでも貢献できたのではないのでしょうか。この活動を通して生徒たちの地域を美しくしようという気持ちも高まったものと思います。

ゴミあったよ!



部活動生集会

2月12日

2月12日(火)、7時間目に今年度最後となる部活動生集会を行いました。まず、イラスト部部长松園ひかりさんと女子バスケットボール部主将赤窄詩織さんが、それぞれ文化部・体育部の代表として今年度の反省と来年度への抱負を全部活動生の前で話してくれました。文化部については、部員一人一人が充実した活動ができるように生徒が自ら動いてほしいと呼びかけました。また、定期考査に向けて部活との両立を図っていきましょうと話してくれました。体育部については、部活開始時間の徹底をはじめとした時間の使い方や部室の使い方について考えるよう呼びかけました。

一人ひとりが高い意識をもち、充実した部活動をこれからも行っていきたいと思います。



♪第26回吹奏楽部定期演奏会のお知らせ♪

日時：H25.3.17(日) 13:00～開場 13:30～開演

場所：福江文化会館 大ホール 入場無料



曲目：「カンタベリー・コラール」「あこうのように(ア・カペラ四部合唱ver.)」「Let's Swing !!」
「刑事&アクション・メドレー～はぐれ刑事純情派～探偵物語～太陽にほえろ!!～など」ほか

「カンタベリー・コラール」ではイギリスのカンタベリー大聖堂を彷彿させる荘厳な響きを、「あこうのように(ア・カペラ四部合唱ver.)」では声だけで創るハーモニーの魅力を、「刑事&アクション・メドレー」や「Let's Swing !!」では見て聴いて楽しめる演出を準備しています。入場無料です。皆様のご来場、お待ちしております。



2月12日(火)に1、2年生による生徒総会を行いました。この日に向けて、生徒会執行部員は、各クラスや部活動からの数多くの意見や要望を集約しました。そして、何度も話し合いを重ね、その中で生徒総会当日に協議する議題を選び準備を進めました。

当日は議長の進行に従って、予算の承認や専門委員会の報告などが行われました。各クラスから出された議案は、学校生活をより良いものにしようという意識を持ったものでした。

これからも、生徒一人ひとりが、生徒会の一員であるという自覚を持って生活することを期待しています。

准看護師資格試験出陣式 2月14日

2月14日(木)にメモリアルホールで、准看護師資格試験の「出陣式」を実施しました。受験する3年7組生徒16名と教職員が参加しました。式では教頭先生、学年主任の楠本先生、進路主任の中野先生から激励をいただきました。その後、生徒を代表して安木花南美さんが「受け持たせていただいた患者様のこと、患者様のご家族、病院実習で指導してくださった指導者さん、スタッフの方々を思い出すと頑張れます。」と決意表明をし、1・2年生から「どんなに大変な時も笑顔だった先輩方なら大丈夫、応援しています。」と折鶴が贈呈されました。最後に勝ち鬨を上げて、3学年の先生方からDVDの応援メッセージをいただき、生徒一人ひとりが本番の試験への決意を新たにしました。

多くの方に見守られながら今日を迎えられたことを感じる感動的な出陣式で、生徒達にとって大きな励みとなりました。

応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

先輩方、
頑張って来てください！



必ず全員で
合格します！

准看護師資格試験 2月15日

2月15日(金)に平成24年度長崎県准看護師資格試験が行われ、衛生看護科3年生全員が受験をしました。前日には出陣式をしていただき、当日は、多くの先生方や衛生看護科の1年生、2年生に見送られながら学校を出発し、生徒にとっては大きな励みとなりました。

会場到着後、これまでお世話になった多くの方々への感謝の思いを胸に、試験開始直前まで真剣に参考書を開いて学習に励む姿がとても印象的でした。卒業を前にした今は、16名全員の合格を祈ると共に、1人ひとりが“キラリとキラリ”と輝く素敵な看護師になる夢を実現してほしい、そして4月から各々の進学先や就職先で精一杯頑張ってもらいたいと強く願っています。

今回の准看護師資格試験にあたり、これまでご指導、ご支援いただきました多くの方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



平成24年度 小学校への高校生助手ボランティア派遣事業 2月4～22日

2月4日(月)から実施していた小学校ボランティアが2月22日(金)に終了しました。ボランティア活動に参加した12名は、「やってよかった!」「楽しかった!」と笑顔で感想を述べていました。

3週間と短い期間ではありましたが、12名にとって決して忘れられない貴重な体験になったものと思います。今回の小学校ボランティア事業にご協力いただいた小学生の皆さん、先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

